

「防災講演会」後の意見交換会

名古屋市緑政土木局が主催する「防災講演会」意見交換の場のファシリテートをしました。

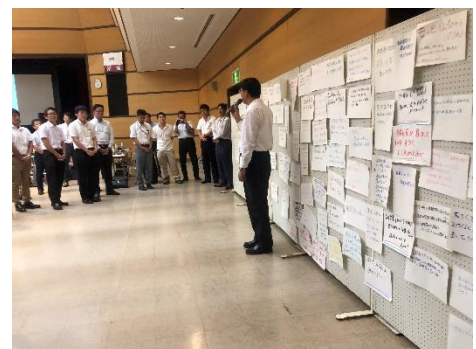
☆防災講演会

仙台市の環境局長さま、仙台建設業組合の会長さまが 3.11 からの道路啓開、がれきなどの処理の様子をそれぞれのお立場から話してくださいました。

がれきなどの処理は、建設業の方々が請け負っていたということに改めて気づきました。計画を練る行政と確実に動かす業界の方々の連携がとても重要であることを感じました。

☆意見交換会は

参加されたのは、名古屋市の緑政土木局の方々と名古屋建設業組合の方々。重機が被災した場所に入っていくためには、道路啓開が一刻も早く行われることが求められます。今回参加してくださった方々が連携して初めて、発災後のごみやがれきが片付けられていくのです。



進め方は、ワールドカフェ方式。第1ラウンドはいろいろな業種の方々が入り混じったグループで講演会の感想をお話いただきました。第2ラウンドは、お一人を残してテーブル移動し、できている連携、これから行っていかななくてはならないだろう連携についての対話。第3ラウンドはもとのテーブルに戻って、第2ラウンドと同じ問いで対話をしていただきました。

テーブルに置かれた模造紙にも自主的に書き込んでくださり、現場力の高さが伝わってきました。

ゲストのお二人もテーブルの間を歩いて質問にも気軽にお答えくださいました。

対話の後、みなさんのアイデアをA4用紙にご記入いただき、壁に貼って共有。最後には、ゲストから講評代わりに、貼られた紙を見てのコメントをいただきました。ゲストのコメントも連携よく進み、日ごろの顔が見える関係の重要性を見せていただきました。最後は参加者から「名古屋のみんなにエールを！」という素敵な締めになりました。

☆実際の現場をもっている方々の対話はとても現実的で、話題は尽きませんでした。ここでの対話が、これからの課題解決のベースになっていけば、光栄です。